

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 14日

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 たけっこ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11			・1Fデイルームは少しせまいですが、2Fデイルームも使ってケアしている。	
	2	職員の配置数は適切である	11				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	3			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		11			・外部評価については、今後様々な手法を取り入れていき、さらなる業務改善に繋げていけるようにします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11			・月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	2		・話し合うようにしています。	・よりスタッフ同士で提案し合える時間を設けていけるように取り組んでいきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	2	1	・季節に応じた活動を取り入れています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	3		・事前に打ち合わせしていますが、時々できていないこともあります。	・新しいスタッフを含め、全員がしっかりと支援内容を共有できるようなミーティングを行ってきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2			・振り返りは行っているが、感染症対策の観点から全員が参加できていない場合があるので、日々全員が参加できるような工夫を行っていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	2			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	1			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	1				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					・該当するご利用者様は いらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	4			・より連携しながら、相互にお子様の発達支援や療育の質を高めていけるように協力していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	4			・就労先への情報提供を行 っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	5			・連携しながら、相互にお子様の発達支援や療育の質を高めていけるようにしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	4	2		・公園であいさつはしていま す。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	5			・感染症対策の観点から、参加するスタッフが限られていたが、できるだけ多くのスタッフが参加できるように調整していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	2			・お迎え時やお帳面などで状 況や課題についてはお話を させていただいています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	1	2		・保護者様の対応の仕方につ いて、ご利用者様の発達 に沿って詳しいスタッフが説 明できるようにしています。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11				・相談の時間を設けるなど して対応しております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	4		・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを十分に検討し、ご利用者様のより良い支援へ繋げていけるようにしていきたいと思 います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	5			・ここ最近会報を発行できていないので、スタッフで協力して行っていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	11				・スタッフには取り扱いに 十分注意するように指導 しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1	2		・クリスマスのイベントなど、 地域の方々と行事の共有を 行っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1	1	・保護者様にも緊急時の対応等を理解して頂けるように、掲示物や会報等でお知らせしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1	1	・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるようにしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		1	・ケア後に話す時間は設けている。スタッフ全員が周知できるように事例集を用いて話し合っていきます。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 14日

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 たけっこ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1			
	2	職員の配置数は適切である	9	2			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11				
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	3			・感染症対策の観点から、非常勤スタッフの意見がなかなか聞けていない部分もあるので、様々なスタッフの意見も取り入れられるように、ミーティングの仕方を工夫していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	3			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		11			外部評価については、今後様々な手法を取り入れていき、さらなる業務改善に繋げていきたいと思えます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11			・月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	1			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1			

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	2			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	1			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	2			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11				
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	1			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	3		・新しいスタッフを含め、全員がしっかりと支援内容を共有できるように、ミーティング等行っていきたい。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11				
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	1			
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11			
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	3			
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	2			
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	2			
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	3			
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	5	1	・公園に行った時にあいさつはしています。	ご利用者様や保護者様の意見を踏まえ、交流の機会については検討していきたいと思っております。
29		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	4	1		感染症対策をしながら、参加するスタッフが限定的にならないように配慮していきたいです。
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11			・お迎え時やお帳面などで状況や課題についてお話をさせていただく時間を設けています。	
31		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	2	1	・保護者様の対応の仕方について、ご利用者様の発達に沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	1			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9	2		保護者様の意見を踏まえ、今後そういった機会を設けていくのかを十分に検討し、より良い支援へ繋げていけるようにしていきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	5	1		・会報や掲示物を用いて情報発信ができるようにして参ります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	8	3			・クリスマスのイベントなど、地域の方々と行事の共有をしています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1	1		保護者様にもご理解して頂けるように、掲示物や会報等でお知らせしていきたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1	1		新しいスタッフが十分理解できていない様子なので、周知できるようにしていきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1	1		ケア後に話す時間は設けている。新しいスタッフも周知できるように事例集を用いて指導していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11				
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している					該当するご利用者様はいらっしゃいません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 20日

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 たけっこJ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1			

体制整備	2	職員の配置数は適切である	11			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	2		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	2		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	8	1	・外部評価については、今後様々な手法を取り入れていき、さらなる業務改善に繋げていけるように検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11			・月に2回、発達支援についての研修を行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1		・保護者様のニーズを踏まえた支援計画の立案を行っています。
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	2		・夏はプールやお祭りといった、季節に合わせた活動を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			・ご利用者様の様子に応じて、細かく個別や集団の活動を計画しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1		・その日の役割はミーティングを行い伝えていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	1		・コロナの影響で振り返りに参加できていないスタッフもいるので、スケジュールを調整して行っていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	1		・新しいスタッフにもガイドラインについて理解してもらえるような説明の場をしっかりと設けていきたい。
関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	2		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	2		

機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	5	2	・コロナの為、難しい。 ・感染症等の状況を見ながら、必要性を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	6		・コロナの為、難しい。 ・感染症等の状況を見ながら、対応方法を検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	1		・利用時の様子を伝えながら、保護者様の意見を聞き、お互いに現状の把握ができるように話をする時間を設けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	3		・保護者さまの対応の仕方を、ニーズに沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1		・相談の時間を設けるなどして対応させていただいております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	7	2	・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを十分に検討し、より良い支援へ繋げていけるようにしていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	5		・会報を定期的に発行していけるようにしていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	11			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	1	1	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1	1	・保護者様にも緊急時の対応等を理解して頂けるように、掲示物や会報を用いてお知らせしていきたいと思えます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		1	・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、しっかりと理解できるように指導していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		1	・ケア後に話す時間は設けている。スタッフ全員が周知できるように事例集を用いて話し合っています。

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	2			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	2			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	3			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	5	3		・保護者様の意見を定期的にヒアリングし、そういった交流の必要性などを検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	6			・コロナ禍の影響で一定のスタッフの参加になっているので、様々なスタッフが参加できるようにスケジュールを調整していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	1		・お迎え時など、利用時の様子を伝え、保護者様の意見を聞き、お互いに現状の把握ができるように様々な時間や場面で	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	9	1		・保護者様の対応の仕方を、ニーズに沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	1			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	1			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	2			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7	3		・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを十分に検討し、さらなる支援へ繋げていけるようにしていきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	2			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	5			・会報等を用いて情報発信をしていけるようにスタッフで協力し行っていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11				

非常時等の対応	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	1	1		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1	1	・あらゆる事を想定して再度確認、共有していきたい。 ・計画等、あるのかどうか分からない。	・保護者様にも緊急時の対応等を理解して頂けるように、掲示物や会報を用いてお知らせできるようにしたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		1	・計画等、あるのかどうか分からない。	・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、しっかりと指導していきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1	1	・計画等、あるのかどうか分からない。	・ヒヤリハット集は作成していますので、それを用いて危険箇所についてはしっかりと討議していきたい。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11					
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している						

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 25日

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 _____ たけっこ稲沢 _____

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				
	2	職員の配置数は適切である	7				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		4		・外部評価については、今後様々な方法や意見を取り入れながら、業務改善等に繋げていけるように検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		1	・月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7				

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			・支援内容はスタッフで共有していただけるようによく話し合っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	7			・利用者様それぞれの発達段階に合わせたプログラムを作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・その日のご利用者様の特性に合わせて活動を設定し、職員の役割を決めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	7			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		1	・継続的な支援のために、必要な情報は提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		2	・より連携を深めながら、ご利用者様の発達支援や療育の質を高めていけるようにしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		4	・コロナ等の状況を見ながら、必要性を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6		1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			・お迎え時など、利用時の様子を伝え、保護者様の意見を聞き、お互いに情報を共有できるように時間を設けています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6		1	・保護者様の対応の仕方を、詳しいスタッフが説明できるようにしています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを十分に検討し、より良い援へ繋げていけるようにしていきたいと思ひます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		・コロナ等の状況を見ながら、地域の方々との関わり方を検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 25日

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 たけっこ稲沢

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			・空中にも遊具を設置し、スペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	7				
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7				
5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7					
6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7					

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		・外部評価については、今後様々な方法や意見を取り入れながら、業務改善等に繋げていけるように検討していきます。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			・月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7				
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7				
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			・支援内容はスタッフで共有していけるように普段から話し合う時間を設けています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・その日利用がある利用者様の発達段階に合わせたプログラムを作成しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			・その日のご利用者様の特性に合わせた活動に取り組めるようにしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7				
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7					
関係機関や保護者との	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		2		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		1		

連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	・より連携を深めながら、ご利用者様の発達支援や療育の質を高めていけるようにしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5	・保護者様の意見を聞き、そういった交流の必要性などを状況に応じて検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	5	2	・コロナ禍の影響で一定のスタッフの参加になっているので、まんべんなくスタッフが参加できる環境を整えていきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6	・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを十分に検討し、さらなる支援へ繋げていけるようにしていきたいと思えます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	・コロナ等の状況を見ながら、地域の方々との関わり方を検討していきます。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			・該当するご利用者様はいらっしゃいません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 12日

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 たけっこS

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			・室内のスペースや駐車場などを活用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	9				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	2			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2	1		・外部評価については、今後様々な手法を取り入れていき、業務改善に繋げていけるように検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			・月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	2		・保護者様の意見やニーズを踏まえた支援計画の立案を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	3			現在もチームでの立案は行っているが、非常勤スタッフ等の意見を取り入れられるようにしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		・職員間で話し合いながら、遊具の購入や新しい遊びの提案を行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2		・休日や長期休暇には制作活動も積極的に取り組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	3			・コロナ禍で全員が参加できていないこともあるので、新しいスタッフを含め、全員がしっかりと共有できるようなミーティングを行っていききたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1			・ケア後にもミーティングを行っているが、コロナの影響により参加できていないスタッフもいるので、方法などを考えていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	2			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	3			・新しいスタッフにもガイドラインについて理解してもらえるような説明を行う機会を設けていきたい。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	3		・送迎時の対応等については相談して決めさせていただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	5		・情報共有は行っているが、より密に連携を取っていききたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	5		・情報共有は行っているが、より密に連携を取っていききたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	4	・感染症等の状況を見ながら、必要性等を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	5	1	・感染症対策のため、参加するスタッフが限られているので、できるだけ多くのスタッフが参加できるようにしていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1		
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	3	1	・保護者様の対応の仕方、ニーズに沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1		・相談の時間を設けたり、支援計画の説明時などに対応させていただいております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	3	・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを検討し、より良い支援へ繋げていけるようにしていきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	2		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	4		・会報を定期的に発行していけるようにスタッフ間で協力していきます。
	35	個人情報に十分注意している	9			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	2	
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1		・保護者様にも緊急時の対応等を理解して頂けるように、掲示物や会報を用いてお伝えしていきたいと思っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	1	・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるようにしていきたい。また、様々な場面に対応できるように訓練も行っていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	2		・その日の振り返りで、危険個所については事例集を用いてしっかりと討議していきたい。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 20日

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 たけっこJ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1			
	2	職員の配置数は適切である	11				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	2			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	2			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	8	1		・外部評価については、今後様々な手法を取り入れていき、さらなる業務改善に繋げていけるように検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11			・月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1		・保護者様のニーズを踏まえた支援計画の立案を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	2		・夏はプールやお祭りといった、季節に合わせた活動を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			・ご利用者様の様子に応じて、細かく個別や集団の活動を計画しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1		・その日の役割はミーティングを行い伝えていきます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	1			・コロナの影響で振り返りに参加できていないスタッフもいるので、スケジュールを調整して行っていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	1			・新しいスタッフにもガイドラインについて理解してもらえよう説明の場をしっかりと設けていきたい。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	2		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	5	2	・コロナの為、難しい。 ・感染症等の状況を見ながら、必要性を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	6		・コロナの為、難しい。 ・感染症等の状況を見ながら、対応方法を検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	1		・利用時の様子を伝えながら、保護者様の意見を聞き、お互いに現状の把握ができるように話をする時間を設けています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	3		・保護者さまの対応の仕方を、ニーズに沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1		・相談の時間を設けるなどして対応させていただいております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	7	2	・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを十分に検討し、より良い支援へ繋げていけるようにしていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	5		・会報を定期的に発行していけるようにしていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	11			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	1	1		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1	1	・保護者様にも緊急時の対応等を理解して頂けるように、掲示物や会報を用いてお知らせしていきたいと思 います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		1	・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、しっかりと理解できるように指導していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		1	・ケア後に話す時間は設けている。スタッフ全員が周知できるように事例集を用いて話し合っていきます。

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	3		・送迎時の対応等については相談して決めさせていただきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	5		・情報共有は行っているが、より密に連携を取っていききたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	5		・情報共有は行っているが、より密に連携を取っていききたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	4	・感染症等の状況を見ながら、必要性等を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	5	1	・感染症対策のため、参加するスタッフが限られているので、できるだけ多くのスタッフが参加できるようにしていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1		
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	3	1	・保護者様の対応の仕方を、ニーズに沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1		・相談の時間を設けたり、支援計画の説明時などに対応させていただきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	3	・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを検討し、より良い支援へ繋げていけるようにしていきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	2		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	4		・会報を定期的に発行していけるようにスタッフ間で協力していきます。
	35	個人情報に十分注意している	9			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	2	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1			・保護者様にも緊急時の対応等を理解して頂けるように、掲示物や会報を用いてお伝えしていききたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	1		・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるようにしていきたい。また、様々な場面に対応できるように訓練も行っていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している					
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	2			・その日の振り返りで、危険箇所については事例集を用いてしっかりと討議していきたい。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 25日

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 たけっこ稲沢

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				
	2	職員の配置数は適切である	7				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		4		・外部評価については、今後様々な方法や意見を取り入れながら、業務改善等に繋げていけるように検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		1	・月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			・支援内容はスタッフで共有していけるようによく話し合っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			・利用者様それぞれの発達段階に合わせたプログラムを作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・その日のご利用者様の特性に合わせて活動を設定し、職員の役割を決めています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		1	・継続的な支援のために、必要な情報は提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		2	・より連携を深めながら、ご利用者様の発達支援や療育の質を高めていけるようにしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		4	・コロナ等の状況を見ながら、必要性を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6		1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			・お迎え時など、利用時の様子を伝え、保護者様の意見を聞き、お互いに情報を共有できるように時間を設けています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6		1	・保護者様の対応の仕方を、詳しいスタッフが説明できるようにしています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		6	・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを十分に検討し、より良い援へ繋げていけるようにしていきたいと思えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		1	
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		4	・コロナ等の状況を見ながら、地域の方々との関わり方を検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			